



認知症について考える第10回介護予防大会を開催します

人生100年時代を迎え、いつかは誰もが認知症になる可能性があります。そこで第10回という節目の本大会では、「認知症」の学びをとおして、すべての高齢者が住み慣れた那須烏山市で、いきいきと楽しく生活していただくための地域づくりのヒントを見つけていく内容です。

開催日:令和5年12月19日(火)
午前10時から正午(9時30分~受付)

会場:烏山公民館2階研修室(中央2-13-8)

内容:講演「認知症から考える、これからの那須烏山市」
講師 NPO 法人風の詩 永島 徹 氏
寸劇「認知症の症状について」
栃木県消費者リーダー連絡会那須烏山支部



昨年の大会での寸劇の様子

2025年には、日本の認知症高齢者数は700万人。65歳以上の約5人に1人に達することが見込まれています。那須烏山市の高齢者人口は、令和5年10月1日現在9,400人(住基人口)、高齢化率約38.9%であり、後期高齢者の数は4,971人です。認知症は、加齢とともに、有病率が増えることから、那須烏山市において、今以上に認知症に関連する相談や、ニーズが増加することが予想されます。その際、専門機関だけでなく、住民の認知症に対する理解や、住民主体の活動を促進していくことが重要であり、認知症になっても地域で暮らすことが当たり前の那須烏山市を目指していくために、本大会を開催します。

介護予防大会は2012年度から、認知症に関連する内容で開催。コロナ禍の影響から休止したこともありましたが、昨年度3年ぶりに開催し、今年度10回目を迎えます。

この件に対する問い合わせ先

健康福祉課高齢いきがいグループ 電話:0287-88-7115